平成26年３月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成25年10月29日

上場会社名　　旭精機工業株式会社　　上場取引所　名
コード番号　　6111　　ＵＲＬ　http://www.asahiseiki-mfg.co.jp/
代表者　　（役職名）取締役社長　　（氏名）山口　央
問合せ先責任者　（役職名）常務取締役　　（氏名）神戸　昌之　　ＴＥＬ　0561-52-5300

四半期報告書提出予定日　　平成25年11月14日　　配当支払開始予定日　－
四半期決算補足説明資料作成の有無：　無
四半期決算説明会開催の有無　　：　無

（百万円未満切捨て）

１．平成26年３月期第２四半期の業績（平成25年４月１日～平成25年９月30日）

（１）経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年３月期第２四半期	4,921	△6.7	107	△33.7	134	△28.7	74	△20.9
25年３月期第２四半期	5,272	△0.9	162	176.0	188	115.1	93	116.4

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年３月期第２四半期	2.61	－
25年３月期第２四半期	3.29	－

（２）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年３月期第２四半期	17,047	11,795	69.2
25年３月期	16,792	11,605	69.1

（参考）自己資本　　26年３月期第２四半期　　11,795百万円　　25年３月期　　11,605百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年３月期	－	－	－	5.50	5.50
26年３月期	－	－			
26年３月期（予想）			－	5.50	5.50

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

３．平成26年３月期の業績予想（平成25年４月１日～平成26年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,400	2.5	310	△8.3	350	△10.0	200	△7.8	7.03

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　無

※　注記事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　有

（注）詳細は、添付資料Ｐ．３「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年３月期２Ｑ	30,887,396株	25年３月期	30,887,396株
②　期末自己株式数	26年３月期２Ｑ	2,432,346株	25年３月期	2,429,360株
③　期中平均株式数（四半期累計）	26年３月期２Ｑ	28,455,810株	25年３月期２Ｑ	28,460,395株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了しておりません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は国内外の経済情勢並びに予期できない資源高騰等の様々な要因により異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 2
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（２）追加情報 …… 3
３．四半期財務諸表 …… 4
（１）四半期貸借対照表 …… 4
（２）四半期損益計算書 …… 6
（３）四半期キャッシュ・フロー計算書 …… 7
（４）四半期財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第２四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の各種経済対策を背景に、設備投資や個人消費に改善がみられ、また、公共投資も増加を続けるなど、全体として緩やかに回復しつつある状況で推移いたしました。

このような状況のもと当社は、一層の生産性の向上や更なるコスト削減の徹底などに注力するとともに、営業活動の強化や新製品の投入を図り、業績の向上に努めてまいりましたが、売上高は49億２千１百万円と前年同期比6.7%の減少となり、営業利益は１億７百万円と前年同期比33.7%の減少、経常利益は１億３千４百万円と前年同期比28.7%の減少、四半期純利益は７千４百万円と前年同期比20.9%の減少となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

［精密加工事業部］

精密加工事業部における当第２四半期累計期間の売上高は、31億２千１百万円と前年同期比0.9%の減少となり、その内容は以下のとおりです。

「小口径銃弾」は、16億２千５百万円と前年同期比12.1%の増加となりました。「精密金属加工品」は、自動車関連向けは増加したものの、水晶振動子用ケースが減少したことなどから、14億９千６百万円と前年同期比11.9%の減少となりました。

［機械事業部］

機械事業部における当第２四半期累計期間の売上高は、17億９千９百万円と前年同期比15.2%の減少となり、その主な内容は以下のとおりです。

「航空機部品」は、旅客機用部品が増加したことから、６億４千万円と前年同期比24.0%の増加となりました。

「プレス機械」は、電池ケース加工用プレスは増加したものの、自動車関連向けが減少したことから、６億１千４百万円と前年同期比31.4%の減少となりました。「自動機・専用機」は、自動車関連向けが減少したことから、２億４千６百万円と前年同期比37.2%の減少となりました。「ばね機械」は、自動車関連向けなどが減少したことから、２億３千１百万円と前年同期比18.0%の減少となりました。

（２）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第２四半期末の総資産は、前期末より２億５千５百万円の増加となりました。これは主に、売上債権が６億９千１百万円減少したものの、たな卸資産が６億８千５百万円、現金及び預金が３億８千９百万円増加したことによるものです。負債につきましては６千６百万円の増加となりました。これは主に、仕入債務が１億６千７百万円増加したことによるものです。純資産につきましては１億８千９百万円の増加となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が２億７千２百万円増加したことによるものです。

②キャッシュフローの状況

当第２四半期末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は46億４千７百万円となり、前期末より３億８千９百万円増加しました。

各キャッシュフローの状況は以下のとおりとなっております。

（営業活動によるキャッシュフロー）

営業活動による資金の増加は３億７千２百万円となりました。これは主に、たな卸資産が６億８千５百万円増加したものの、売上債権が６億９千１百万円減少及び減価償却費を３億４千６百万円計上したことによるものです。

（投資活動によるキャッシュフロー）

投資活動による資金の増加は１億７千８百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得で１億５千８百万円支出したものの、長期定期預金の払戻により３億円の収入があったことによるものです。

（財務活動によるキャッシュフロー）

財務活動による資金の減少は１億６千１百万円となりました。これは主に、配当金で１億５千５百万円支出したことによるものです。

（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成25年４月25日の「平成25年３月期　決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第２四半期会計期間を含む会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（２）追加情報

（役員退職慰労引当金）

当社は従来、役員の退職慰労金支給に充てるため、内規に基づく期末要支給額の100%を計上しておりましたが、平成25年４月25日開催の取締役会において、平成25年６月27日開催の定時株主総会終結時をもって役員退職慰労金制度を廃止することを決議いたしました。また、同定時株主総会において、本制度廃止日までの在任期間に対応する役員退職慰労金を打ち切り支給することとし、その支給の時期は、各役員の退任時とすることを決議いたしました。これにより、役員退職慰労引当金を全額取崩し、当該未払い金額１億９千万円は固定負債の「その他」に含めて表示しております。

３．四半期財務諸表

（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （平成25年３月31日）	当第２四半期会計期間 （平成25年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,757,978	5,147,473
受取手形及び売掛金	3,205,136	2,513,971
製品	87,459	279,656
仕掛品	1,493,052	1,920,485
原材料及び貯蔵品	554,838	620,649
その他	144,263	145,607
貸倒引当金	△12,600	△7,900
流動資産合計	10,230,128	10,619,943
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,588,703	1,577,201
機械及び装置（純額）	1,680,220	1,608,702
その他（純額）	962,998	982,812
有形固定資産合計	4,231,921	4,168,716
無形固定資産	83,618	87,560
投資その他の資産		
投資有価証券	1,660,139	2,010,481
その他	589,268	163,452
貸倒引当金	△2,938	△2,351
投資その他の資産合計	2,246,468	2,171,582
固定資産合計	6,562,008	6,427,859
資産合計	16,792,137	17,047,803

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年３月31日)	当第２四半期会計期間 (平成25年９月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,843,764	2,011,544
短期借入金	900,000	900,000
未払法人税等	152,585	72,174
賞与引当金	216,316	198,104
その他	735,877	723,665
流動負債合計	3,848,543	3,905,488
固定負債		
退職給付引当金	868,522	864,784
役員退職慰労引当金	185,434	―
その他	283,798	482,300
固定負債合計	1,337,754	1,347,085
負債合計	5,186,298	5,252,574
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,175,416	4,175,416
資本剰余金	3,468,202	3,468,202
利益剰余金	3,714,273	3,631,982
自己株式	△340,191	△340,797
株主資本合計	11,017,701	10,934,804
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	588,137	860,424
評価・換算差額等合計	588,137	860,424
純資産合計	11,605,838	11,795,228
負債純資産合計	16,792,137	17,047,803

（２）四半期損益計算書
（第２四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
売上高	5,272,676	4,921,694
売上原価	4,484,414	4,167,696
売上総利益	788,261	753,998
販売費及び一般管理費	626,072	646,519
営業利益	162,189	107,478
営業外収益		
受取利息	383	234
受取配当金	14,277	17,317
固定資産賃貸料	19,027	18,729
その他	6,184	5,207
営業外収益合計	39,873	41,489
営業外費用		
支払利息	3,068	2,940
固定資産賃貸費用	9,639	9,803
その他	734	1,645
営業外費用合計	13,442	14,389
経常利益	188,620	134,577
特別利益		
固定資産売却益	131,146	－
特別利益合計	131,146	－
特別損失		
固定資産除却損	3,354	－
投資有価証券評価損	4,594	－
退職給付制度改定損	144,944	－
特別損失合計	152,894	－
税引前四半期純利益	166,872	134,577
法人税等	72,990	60,350
四半期純利益	93,882	74,227

（３）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	166,872	134,577
減価償却費	311,269	346,087
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△4,087	△5,287
賞与引当金の増減額（△は減少）	12,092	△18,211
退職給付引当金の増減額（△は減少）	197,142	△3,737
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	△15,740	△185,434
受取利息及び受取配当金	△14,660	△17,551
支払利息	3,068	2,940
有形固定資産売却損益（△は益）	△131,146	－
有形固定資産除却損	3,354	－
売上債権の増減額（△は増加）	△151,264	691,164
たな卸資産の増減額（△は増加）	△467,498	△685,440
仕入債務の増減額（△は減少）	114,966	166,709
その他	△46,540	71,895
小計	△22,172	497,712
利息及び配当金の受取額	14,660	17,551
利息の支払額	△3,051	△2,972
法人税等の支払額	△42,405	△139,467
営業活動によるキャッシュ・フロー	△52,968	372,823
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	－	300,000
有形固定資産の取得による支出	△141,462	△158,074
有形固定資産の売却による収入	150,125	－
無形固定資産の取得による支出	△1,339	△11,735
投資有価証券の取得による支出	△2,536	△2,942
投資有価証券の償還による収入	－	50,000
その他	△278	1,085
投資活動によるキャッシュ・フロー	4,509	178,332
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△128	△605
配当金の支払額	△155,719	△155,638
その他	△4,158	△5,410
財務活動によるキャッシュ・フロー	△160,006	△161,653
現金及び現金同等物に係る換算差額	△36	△7
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△208,502	389,494
現金及び現金同等物の期首残高	4,622,632	4,257,978
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,414,130	4,647,473

（４）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。